

## 旧庁舎で消防訓練の実施

1月15日(月)、役場旧庁舎にて幡多中央消防組合による合同訓練が実施されました。

参加したのは、四万十消防署・黒潮消防署・西土佐分署の計34人で、耐火構造建築物での火災対応訓練を行い、技術の向上や活動内容の見直しをする目的で行われました。

訓練では、計6人の救助者を指揮隊・タンク隊・ポンプ隊・救助隊・救急隊の5つのチームで連携して速やかに救助活動を行いました。疑似の煙を出すスモークマシンや呼吸器なども準備され、隊員らは、「コンクリートだから無線が聞こえないことがわかったり、建物を使用した訓練は臨場感もあり、タイミングや無駄な作業などの気づきも多かった」など、実際の建造物を使った訓練の機会に、緊張した面持ちで参加していただきました。



救助訓練の様子

## 第29回林間学校 枝打ち・間伐体験

2月15日(木)、幡東森林組合主催の林間学校が鈴地区・虎杖山で開催され、入野小学校・佐賀小学校の児童や関係者計84人が枝打ちなどの体験をしました。

最初に森林組合から枝打ちや間伐作業についての説明や、のこぎりを使用する際の注意点などを教わった後、グループに分かれて作業に取りかかりました。

児童らは、「山の中に入ることも、のこぎりを使うことも初めて」と当初は戸惑っていた様子でしたが、作業が進むにつれ「やり方がわかってきたから、もっとやりたい」と林間学校を楽しんだ様子でした。幡東森林組合の吉門誠さんは、「今回の体験場所は、過去に先輩が木を植えた場所。大きく育った木を見て何か感じてもらったり、また、子どもたちが森林に興味を持ち、林業に親しみを覚えてくれたら」と話していました。



枝打ち体験の様子

## 蒸しはぎ・へぐり体験

1月21日(日)、若山楮和紙工房にて蒸しはぎ体験が行われ、また、翌週28日(日)には、へぐり体験も実施され、町内の小学1年～6年生の児童や一般参加を合わせ、計220人が参加しました。

蒸しはぎ体験に参加した児童らは、蒸しあがったばかり楮の匂いに歓声を上げて束を受け取り、地域の皆さんに教わりながら作業を進めました。

今回で3回目という児童は、「だんだんやり方がわかってきて、上手になってきた」と作業の感覚をつかんだ喜びを語っていました。

また、同体験イベントは「若山楮和紙工房」の完成セレモニーもかねて行われ、セレモニーでは、佐賀北部活性化推進協議会・大石正幸会長より「皆さんの深いご理解とご協力のもと完成することができた。この施設が橘川にあって良かったと言われる場所を目指したい」とあいさつがありました。

体験後には、地域で活動を行っている高知大学地域協働学部の学生6人が、地元の食材をメインとしたのしし汁を100食用意し、参加した児童や地域住民にふるま

いました。

そのほかにも、佐賀北部集落活動センター・食部会の出店もあり、手作りおで

んや新発売の「さが谷みそ」などが販売されました。

へぐり体験イベントでは、高知大学地域協働学部の学生や地域住民らがへぐりを教わりました。

体験に参加した同学部2年生和田安友菜さんは、「力を入れ過ぎると駄目になってしまい、力がゆる過ぎても綺麗な仕上がりにならないため難しいけれど、教えてもらい少し上手になった」と感想を語っていました。

※和紙の原料となる楮を蒸して、蒸した楮の皮を剥く作業を「蒸しはぎ」、蒸しはぎした皮の黒い部分を包丁で削ぐ作業を「へぐり」といいます。



蒸しはぎ体験の様子



へぐり体験の様子